

No.20号 Matrix, No.20 (10 Mar., 1999)

- 1) IMOの会議に参加して 池田 良穂
- 2) 第56回例会(平成11年1月28日)概要 長尾 實三  
展望: グローバリゼーションの進展と我が国海上交通界の一問題 石谷 清幹  
展望: 海事振興と日本の役割 今市 憲作  
大討論会「21世紀への展望」・・・要旨 概要(長尾記述) 参照
- 3) “ほんね”と“たてまえ” 中沢 武
- 4) ガット船の油回収船への転用開発 岡田 紀代蔵
- 5) 用語説明・・・ISO規格、IMO、ISMコード、PSC、東京MOU 「海事プレス」紙から
- 6) 資料・・・新聞記事から  
\*マラッカ海峡と海路中国が監視網設置 産経新聞、平成11年2月3日  
\*内航海運の環境整備推進 業界の自助努力には限界 内航総連支援策を要望 原田 弘 会長  
日本海事新聞、平成10年10月6日  
\*「灯光」海運の森を守れ 海運行政不在の危険も 今井 武久  
日本海事新聞、平成10年10月30日
- 7) 団体会員紹介
- 8) 交流広場の声 金融危機に60兆円の公的資金、本当に必要なの?— 金融危機と阪神淡路大震災、  
危機管理の課題について想うこと— 西川 栄一
- 9) 会報 本年の例会予定 新入会員と会員移動 ホームページ開設 等 10) EMコーナー
- 11) ホームページコーナー・・・MTSホームページの見出しなど
- 12) 編集後記 長尾 實三
- 13) 出版物ご案内  
\*輝け!内航海運  
\*Steam Power Engineering, Thermal and Hydraulic Design Principles  
\*海難調査考 在田 正義 著作集  
入会申込書 個人会員用 団体会員用

No.19号 Matrix, No.19 (1 Jan., 1999)

- 1) 新年のご挨拶と論説  
\*創立11年めの新年にあたって 石谷 清幹  
\*ご挨拶 池田 良穂 竹野 次郎 城戸 八郎  
\*セイフティとセキュリティ 細野 嘉昭 \*神戸沖空港問題についての一考 増山 雄三  
\*兎年のMTSで具体化したいこと 石田 憲治  
\*魅力ある海上交通のために 青木 健作 \*江戸時代の海上交通 寺田 政信  
\*海難調査考 在田 正義
- 2) 第55回例会(平成10年11月20日)概要 長尾 實三  
(財)新産業創造研究機構の事業紹介 (財)新産業創造研究機構 大内 権一郎  
明石大橋完成後の船舶交通量について 大阪湾海上交通センター 運用管制課長 末田 和也  
大橋と明石海峡の漁業 明石市・林崎漁協 鷺尾 圭司  
大橋完成に伴う四国—本州間の物流動向 四国西濃運輸(株) 墨田 友清

- 3) 会報 平成 11 年例会話題予定 平成 10 年度名簿
- 4) 編集後記 長尾 實三  
輝け！内航海運 広告 入会申込書（個人および団体）

No.18 号 Matrix, No.18 (16 Oct., 1998)

- 1) 「若者と海」－洋上大学船に乗って－ 原 潔
- 2) 第 54 回例会（9 月 25 日）講演要旨（概要 長尾 實三）  
ダイヤモンド・グレース号のその後 日本船長協会 増井 眞  
ダイヤモンド・グレース(D 号)原油流出事故 海上災害防止センター 佐々木 邦昭  
IMO の動向と日本の懸案事項及び技術的規制の今後の動向  
運輸省海上技術安全局安全基準課 補佐官 池田 陽彦
- 3) 海運は儲かりまへんか??? 上田 一郎 4) アフリカ、スーダン見たまま 寺田 政信
- 5) 神戸商船大学紹介 6) 大阪大学工学部の改組について 長谷川 和彦
- 7) 団体会員紹介 8) 懇親会あれこれ 古山 祐喜 9. 会員の声 世良 互
- 10) 会報（①今後の例会予定(55、56 回例会) ②新会員紹介 等）
- 11) E-mail 活用について 長谷川 和彦 12) 編集後記 長尾 實三
- 13) 広告 出版物ご案内「輝け！内航海運」 14) 入会申込書（個人および団体）

No.17 号 Matrix, No.17 (18 Aug., 1998)

- 1) 船舶運航におけるヒューマンエラーについて 小林 弘明
- 2) 第 53 回例会（7 月 17 日）講演要旨（概要 長尾 實三）  
バルト海でのエストニア号海難事故最終報告に関して 石田 憲治  
ナホトカ号事故原因に関するロシア側の見解について 在田 正義  
ナホトカ号事故調査最終報告書に関して 内藤 林  
**ABOUT THE PROBABLE CAUSES OF THE TANKER «NAKHODKA» WRECK**
- 3) 特集 ナホトカ号・エストニア号事故を顧みて 討論  
\* 第 53 回例会での討論 石谷 清幹  
\* ナホトカ・エストニア事故を顧みて（主張と意見）塙 友雄  
\* 「ナホトカ号・エストニア号事故を顧みて — 討論」 上谷 明人  
\* 「ナホトカ号・エストニア号事故を顧みて」 討論 岡本 洋 \*・・・内藤 林  
\* 信頼と確認、分業化の中で 山村 晋一郎
- 4) 荒海の流出油回収船への転用開発 岡田 紀代蔵
- 5) Narrow Boat の朝（英国運河旅行報告）三宮 一泰
- 6) 港湾の海難防止－海域利用調整 鈴木 三郎 第 52 回例会講演要旨
- 7) 「海の日」の一般新聞記事  
\* 社説「海の経済」はまだ不透明だ 毎日新聞、1998.7.20  
\* 論壇青少年に海事思想の普及を 尾崎 竹一 朝日新聞、7.20  
\* 海からの贈り物 日本経済新聞、7.20
- 8) 会報（①今後の例会予定(54、55 回) ②平成 9 年度会計報告 等）
- 9) 団体会員紹介 10) 懇親会あれこれ 山本 公子
- 11) 会員の声 田中 藤八郎
- 12) 編集後記 長尾 實三

No.16号 Matrix, No.16 (17 Jun., 1998)

- 1) 全体像とはどんなものか 石谷 清幹
- 2) 船の現場と安全管理システムの世界 松尾 諄一
- 3) 第 52 回例会 (h.10.5.8) 大阪港および港外を船上より視察と関連講演会) 概要  
議事録 石田 憲治
- 4) 第 52 回例会講演概要 (大阪港の開発の現状と将来) 中村 真幸
- 5) 最近取り組んでいること 小瀬 邦治
- 6) 神戸商船大 原 潔 学長に聞く 日本海事新聞、h.10.2.16
- 7) 会報 ①会員紹介の頁新設 ②今後の例会予定 (第 53~第 55 回)
- 8) 団体会員紹介
- 9) 懇親会あれこれ 寺田 政信
- 10) 会員の声 鷲尾 圭司
- 11) 編集後記 長尾 實三

No.15号 Matrix, No.15 (7 Apr., 1998)

- 1) 石谷会長挨拶「海上交通システム研究会第 51 回研究会 御中」 1998.3.26
- 2) 会報
- 3) 発足 10 周年—第 50 回記念例会平成 9 年 9 月 2 日開催) 終了 例会概要  
記念討論会における結びの挨拶 石谷会長
- 4) 第 51 回例会概要 (3 月 20 日開催)
- 5) 第 52 回例会開催の経緯
- 6) 第 53 回例会予定
- 7) 研究会の取り組む分野と目標
- 8) 第 51 回幹事会議事録
- 9) Estonia 号の海難事故 (海の気象より転載) 「0.01%の人口が亡くなった一隻の海難事故」  
石田 憲治
- 10) 会員の声 「海の日を思う」三宮 一泰
- 11) 編集後記 長尾 實三

No.14号 Matrix, No.14 (2 Sep., 1997)

- 10 周年記念・第 50 回記念研究会 (平成 9 年 9 月 2 日開催)
- 1.海上交通システム研究会 50 回を迎える
  - 2.海上交通システム研究会の主な略史と関連海難
  - 3.全研究会の講演一覧 (第 1 回~第 37) とプログラムおよび報告 (第 38 回以降) 一挙掲載
  - 4.平成 8 年度会計報告
  - 5.世界の原油流出事故一覧 出展 <http://www.cutter.com/osir/bigist.htm>
  - 6.論壇「東京湾の航路体系を整備せよ」原 潔 朝日新聞、1997.7.22
  - 7.灯光「現代の運航技術を考慮した港湾基準を」小瀬 邦治 日本海事新聞、1997.7.28
  - 8.ニュースの焦点「ナホトカ」はこうして避けた 毎日新聞、1997.8.1
  - 9.生活ホットモーニング「東京湾タンカー原油流出事故」NHK 総合テレビ 97.7.14 より

No.13号 Matrix, No.13 (1 Mar., 1997)

- 1.第 45 回研究会 (平成 9 年 1 月 25 日・内航近代化実証船見学会) 報告
- 2.次回以降の計画 (46 回)
- 3.内航船次世代モデル「翔陽丸」完成 産経新聞、1997.2.4・・・ (第 45 回研究会関連)
- 4.ナホトカ号重油汚染問題に関連して・・・第 46 回例会における提案説明・・・  
1997-1-26 石谷 清幹
- 5.「ナホトカ」号の重油流出事故 海上の友、1997.2.1

No.12号 Matrix, No.12 (6 Jan., 1997)

- 1.第44回研究会（平成8年11月26日・内航近代化実証船）報告
- 2.次回以降の計画（第45回～第47回）
- 3.郵船輸送技研で研究例会 海上交通システム研 日本海事新聞、1996.7.16
- 4.国際船舶制度第一船スタート 海上の友、1996.12.21
- 5.東京、神戸両商船大学に博士課程 日本海事新聞、1996.11.11

No.11号 Matrix, No.11 (26 Nov., 1996)

- 1.第40回研究会（平成8年4月19日・機関故障と信頼性）報告
- 2.第41回研究会（平成8年6月6日・国際船舶制度）報告
- 3.第42回研究会（平成8年7月12日・外航海運会社の貨物輸送サービスの現状と将来）報告
- 4.第43回研究会（平成8年10月1日・Shipbuilding と Shipping の高度情報化）報告
- 5.新幹事を迎える 6.次回以降の計画（45回）
- 7.日本に運河構想 ON THE LINE, 1996.9
- 8.21世紀の外航海運（日本郵船顧問 岩松氏のインタビュー記事）日本海事新聞、1996.8.15
- 9.内航近代化船が実証試験へ S&O財団 海上の友、1996.10.21